

2016年 月 日

神奈川県議会議員

様

ゆきとどいた障害児教育をすすめる神奈川県民の会

代表 玉腰 了三

神奈川県立障害児学校教職員組合

学校分会 分会長

「神奈川の障害児教育」に関する懇談のお願い

日頃のご活躍に敬意を表するとともに、障害児教育に対するご理解、ご協力に心から感謝申し上げます。

今、神奈川の特別支援学校では、入学を希望する児童生徒が増加し続け、学校が過大規模・過密化し、教育活動や児童生徒の安全に大きな支障が生じています。また、小学部においても希望しても入学出来ない状況が生まれています。多くの学校では校舎の老朽化も激しく、耐震化対策などは保護者の皆さんの強い願いでもあります。また、過大規模化対策の緊急避難的措置として設置された高校内分教室は、教職員配置や施設設備の面で劣悪な教育環境となっています。県議会では、2008年度の2月定例議会で、特別支援学校新設、スクールバス増車、トイレ改修を内容とする「県立養護学校の整備促進と豊かな障害児教育の実現を求める請願」が全会一致で採択され、今年度、えびな支援学校が新設されました。2020年度には横浜北部方面特別支援学校が開校予定、また、湯河原・真鶴地域での分教室建設に向けて検討中とのことですが、県の再編整備検討協議会最終報告が新設の必要性を答申した「11校1分校」にはまだまだ不足しています。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、私たちの勤務している特別支援学校の実情をお聞きいただくために、懇談をさせていただきたくお願い申し上げる次第です。地元選出議員として議会でもお取り上げいただき、特別支援学校建設、老朽化対策の早期予算化にお力添えをいただけましたら幸いに存じます。誠に勝手ではございますが、ご都合の良い日時設定など、電話にてこちらからご連絡し、ご相談させていただきたいと存じます。

また、お時間をお取りいただくことが可能でございましたら、学校をご視察くださいますと幸甚に存じます。

※お問い合わせ先 _____